

## バドミントンで東北大会出場



東北大会へ出場する選手の皆さん

東北小学生バドミントン大会（黒石市）の出場にあたり、五所川原ゴールデン・クラブの選手の皆さんが10月13日、市長を表敬訪問しました。

東北大会への出場は、古川鳳雅さん（中里小6年）、濱館優羽さん（栄小6年）、太田愛琉さん（瑞穂小6年）、楠美珠莉さん（鶴田小5年）、中村瑳里さん（柏小5年）、中山美優さん（三輪小5年）、秋元希音さん（瑞穂小5年）、古川舞桜さん（中里小4年）の8選手となりました。

男子ダブルス出場の濱館優羽さんは「ペアと息を合わせて全力を尽くして頑張りたいです」と笑顔で抱負を話しました。

## 自衛官募集相談員に委嘱状を交付



委嘱された自衛官募集相談員の皆さんと  
木村本部長(前列左から2人目)

10月13日、五所川原市自衛官募集相談員委嘱状交付式が市役所で行われ、市長と自衛隊青森地方協力本部長との連名による委嘱状が8名（当日欠席2名）に交付されました。

自衛官募集相談員は、志願者に関する情報提供や自衛隊地方協力本部が行う募集のための広報活動に関する援助・協力を行うもので、任期は2年間です。

木村政和本部長は「自衛隊の活動は、安全保障環境が不透明な中で、新型コロナに関する医療支援や自然災害への対応など多岐にわたる。しかし、募集活動はイベントの自粛などにより、対象者に接する機会が減ってしまった。どんな小さな情報でもいいので興味のある方がいたら教えてほしい」と話しました。

## みちのくコカ・コーラボトリングがストップマークを寄贈



寄贈した秋山取締役副社長(前列左から2人目)

10月26日、みちのくコカ・コーラボトリング株式会社の秋山徹郎取締役副社長らは、当市と五所川原市交通安全対策協議会（佐々木孝昌会長）にストップマーク200枚を寄贈しました。

ストップマークは、交差点付近の歩道に貼り付けることで、歩行者に一時停止を促すマークです。

同社では北東北3県で多くの車両が走行しており、地域の痛ましい交通事故を1件でも減らしたいという想いから、県内では初の寄贈となりました。

秋山取締役副社長は「コカ・コーラらしい赤い色と足型の間に見える瓶の形のデザインが、歩行者の目に留まるのでは。交通安全の意識を高め、飛び出しによる事故が減少する一助になれば」と話しました。



ストップマークを設置する市長